



荻窪小学校は、開校 69 周年、現校地にエコスクールとして移転して 12 年目、コミュニティ・スクール（地域運営学校）として 8 年目を迎えます。伝統を大切にし、地域と共にある学校として引き続き充実した教育活動を進め、本校の教育目標「美しい心の子ども 深く考える子ども たくましく生きる子ども」の実現を図っていきます。子供たちの胸に輝く校章はサクラソウです。サクラソウの花言葉「少年の希望」そのままに、子供たちが、主体的に学び、明るく希望をもち、たくましく育ってくれるように、教職員一同、誠心誠意努力していきます。以下の 4 点を重点に、学校経営を推進していきます。この 4 点は相互に関連付けながら取り組んでいくものです。

○令和2年度 杉並区幼保小連携推進校

教育目標 ◎美しい心の子ども ○深く考える子ども ○たくましく生きる子ども

◇学校経営方針の 4 つの柱

心を育てる・一人一人を大切に・つながりを活かす・広い目を育てる

1 心を育てる

◆教育目標「美しい心の子ども」の実現に向け、人間尊重の教育「ヒューマン・ディグニティ教育」を推進します。

全教育活動を通して「心を育てる」教育の一層の充実を目指します。各教科等の授業、学級経営、地域や家庭との連携の中で、「人にやさしく、自分も友達も大切に思う」子供を育てます。（人間尊重の教育「ヒューマン・ディグニティ教育」）

具体的な取組としては、授業や生活、行事における異校種間交流や異学年交流の実践、体験活動、地域人材の活用、専門家に触れる授業等を展開していきます。また、学校いじめ防止基本方針を基に、「いじめ防止教育プログラム」を実施します。そして、子供たちに「心のアンケート」や特別相談週間を繰り返し実施し、気持ちを理解し、寄り添う活動を行っていきます。いじめ防止対策委員会を毎週開催し、いじめの認知やいじめ問題に対して組織的な対応を行っていきます。併せて、生活指導部や特別活動部と連携し、「人権メッセージ、なかよし班活動、ふりかえりアンケート、思いやり週間」を実施して、子供自身が、いじめのない学級・学校・社会を創っていくように、他者を認めるあたたかさと、素直に自分の気持ちを伝える力の育成を図っていきます。

「特別の教科 道徳」の充実を進め、深く考え、話し合う授業を展開し、保護者、地域の皆様と一緒に道徳教育の推進に取り組みます。また、指導と評価の一体化を図り、通知表に道徳評価を記載します。道徳教育は、道徳の授業だけでなく全教育活動の中で実践していきます。オリンピック・パラリンピック開催に向けて、オリンピック・パラリンピック教育の主旨を活かして推進し、障がいのある人への理解を深め、共生社会の実現や国際社会の平和や発展や貢献について考えていきます。

2 一人一人を大切に

◆特別支援教育の理解を深め、全学級で特別支援教育を展開します。

特別支援教育を「一人一人を大切にする」教育としてとらえ、すべての子供たちが安心して学べる学校をめざします。各学級と特別支援教室「すまいる教室」が連携した指導を展開し、どの子も「わかる」

「できる」を実感する授業を工夫します。特別支援教育、特別支援教室の意義や指導内容について、保護者や地域の皆様に確かな理解をしていただけるよう、説明と情報提供に努めています。支援レベル1（学級内配慮）・レベル2（学級内支援）・レベル3（学級外個別支援）に応じた対応・指導を行います。特別支援教育校内委員会を機能させ、特別支援教育コーディネーターを中心とし、特別支援教室専門員、スクールカウンセラー、区教委の教育支援チーム、拠点校からの特別支援教室指導教員、学習支援教員、通常学級支援員、介助ボランティア等と連携し、すべての子供たちを対象に、全学級で、特別支援教育を推進していきます。

3 つながりを活かす

◆教育目標「深く考える子ども」の実現に向け、主体的・対話的で深い学びのある授業、小中一貫・幼保小連携教育を行います。

新学習指導要領に基づく新しい学習を推進します。これまで以上に、積極的に学び成長する教師像を、校内の全教職員がもち、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、ねらいを明確にもった授業、問題解決的な学習、「問い合わせ、考え、話し合う」授業を展開していきます。昨年度の研究成果を生かして、社会科・生活科にとどまらず、全教科・領域において授業改善に取り組みます。「心」や「広い目」といった狭小の4つの重点と関連付けながら、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、学力向上を図ります。

近隣の宮前中学校、久我山小学校、荻窪小学校の3校で、「かかわり、つながり」を重視し、共に学び合う意識をもって小中一貫教育を一層推進していきます。義務教育9年間の視野に立った連続性や系統性のある各教科の指導、生活指導、交流（作品交流を含む）等を充実させます。

また、幼保小連携推進校として、入学時からの「スタートカリキュラム」を改善実施するとともに、宮前保育園、荻窪保育園、近隣子供園・保育園との交流ならびに幼保小の連携についての研修を充実させていきます。

4 広い目を育てる

◆より広い視野で「環境教育」を継続、発展させます。

特色あるエコシステム校舎設備を活かす「エコスクール」として、「自分さえよければ、今さえよければ」という考え方ではなく、環境教育を「生き方教育」として捉え、生涯にわたって地球環境を守り、持続可能な社会を意識して、自ら考え行動できる子供を育てます。日本建築学会や学校支援本部と連携しながら、子供たちが環境学習で学んだことを実生活に生かすことができるよう、本校ならではの環境学習プログラムの改善を進めます。今年度も杉並区「小中学生環境サミット」に参加します。

「心を育てる」学びと合わせて、時間軸で考えると、今生きる人間さえよければよいのではなく、未来に生きる人間を思いやり、今何ができるのかを考え、行動する人を育てます。空間軸では、地球規模の視野をもち、グローバル社会を生きる人間の共存を考え、話し合いや協働によって平和的に様々な問題を解決できる人を育てます。

なお、次年度（令和3年）は開校70周年に当たることから、地域、保護者との連携を一層深め、時間を超えて「共に学び 共に創る」学校であることを、より確かなものにしたいと思います。周年を記念した行事等の準備も進めていきます。

コミュニティ・スクール（CS 地域運営学校）や学校支援本部は、学校の限界を教育の限界とせずに、子供たちに質の高い教育を提供し、それを継続させるための仕組みです。地域の中にある学校であることを意識し、学校と地域の人たちとのつながりを大切にする気持ちが重要です。コミュニティ・スクールである利点を最大限に生かし、かかわるすべての人たちによる「オール荻窪」体制で、荻窪小学校を創り上げていきます。